

明石市立市民病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、2024年12月31日までに下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	救急外来における尿路原性敗血症に対する抗菌薬の開始時間及び適切性に関する研究
当院の研究責任者	藏本 裕信 (薬剤課)
本研究の目的	<p>敗血症は現在でも世界で数秒に1人、国内でも年間(推定)約10万人が亡くなっており、未だ致死率の高い重篤な病態です。出来るだけ速やかに適切な医療を必要としており、その為医療者に対して効率的に治療を進める為の『初期治療とケアバンドル』というものも提示されています。</p> <p>中でも抗菌薬治療の重要性は高く、抗菌薬投与が1時間遅れる毎に死亡率が増加するという研究結果があります。しかしこの1時間以内にその他の診断・治療と同時並行で抗菌薬投与を開始する事は現実的に非常に難しく、抗菌薬開始の適切なタイミングはまだ議論が必要とされています。また、抗菌薬がきちんと効果を発揮する為には、検査で“原因となった細菌に対して効く”と判明した抗菌薬を、十分な量使用しなければなりません。これら抗菌薬の投与開始の遅れや量不足などの不適切な使用は治療失敗に繋がる恐れがあります。</p> <p>しかしこのような投与開始までの時間と死亡率などを検討した研究の大多数は海外からの報告であり、日本人を対象としたものは乏しいのが現状です。さらに時間的要素に加え抗菌薬の適切性にまで言及した報告はほとんどありません。そこで我々は、日常診療でよく遭遇する尿路原性敗血症に対する抗菌薬投与開始までの時間と検出菌に対する感受性、投与量など初期(初回)抗菌薬の投与に関して妥当なものであったか等、総合的な評価を検討する事を目的に本研究を行いたいと考えています。</p>
調査データ該当期間	2020年1月1日～2023年12月31日までに、 当院救急外来で『尿路原性敗血症』と診断され、当院に入院された泌尿器科患者さま。 来院方法(救急搬送、自家用車など)は問いません。
研究方法／利用 (提	救急外来受診時および入院中の年齢、性別、身長、体重、救急外

供) する試料・情報の項目	来時各種スコア(qSOFA/SOFA, 急性期 DIC スコア)、体温、血液検査(白血球数、血清クレアチニン値、CRP 値、プロカルシトニン値、血清乳酸値など)、血液及び尿培養試験結果、投与抗菌薬の種類及び投与量、予後情報などを診療録から集積し解析します。収集したデータは対象者の個人情報とは無関係の番号を付して管理し、個人情報を削除した状態でデータベース化します。
個人情報の取り扱い	この研究で得た情報は厳重に管理され、学術目的のみで利用されます。個人情報を削除したデータベース作成後、統計処理・解析された上で発表されますので、個人を特定できる事はありません。また、本研究従事者以外の第三者に流出する事はありません。以上のように、患者さまのプライバシーは厳重に保護されますのでご安心ください。
費用や追加の検査等	通常の保険診療による血液検査情報などの収集と分析ですので、患者さまに余分な費用を負担していただく事はありません。また、追加の処置や検査、謝礼などありません。
情報等を取り扱う者の範囲 (当院の研究者名、研究場所/多機関共同研究の場合は他機関も)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者： 地方独立行政法人 明石市立市民病院 医療技術部薬剤課 藏本 裕信 ・共同研究者： 地方独立行政法人 明石市立市民病院 医療技術部薬剤課 井戸 佑介
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名	藏本 裕信
拒否できることの旨	この研究にご自分のデータが使用される事を拒否される場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。たとえ協力を拒否されても、今後の不利益になることは一切ありません。しかし、拒否のお申し出のあった時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合には、研究結果を破棄できない事があります。この場合でも個人が特定される事はありませんので、個人情報は保護されます。
お問い合わせ先	〒673-8501 明石市鷹匠町 1-33 地方独立行政法人 明石市立市民病院 TEL: 078-912-2323(代) FAX: 078-912-2368(薬剤課直通) 担当者： 藏本 裕信 (クラフト ヒロノブ)
備考	・本研究は、地方独立行政法人 明石市立市民病院 倫理委員会の承認を受け実施するものです。